

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年01月31日

計画の名称	誰もが快適に暮らし続けられるまちづくり												
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	北上市												
計画の目標	道路交通ネットワークの充実 ・安全で便利な市民生活や産業活動の向上、地域間連携や新たな交流の基盤となる幹線道路網や生活道を整備し道路交通ネットワーク体系の充実を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	4,472	A	4,472	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	道路の機能を保全するために対策が必要な個所の整備率 要対策箇所延長と要対策箇所の整備延長により以下の式で算出する。 要対策箇所の整備済延長/要対策箇所延長×100(%)	0%	32%	65%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中核都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

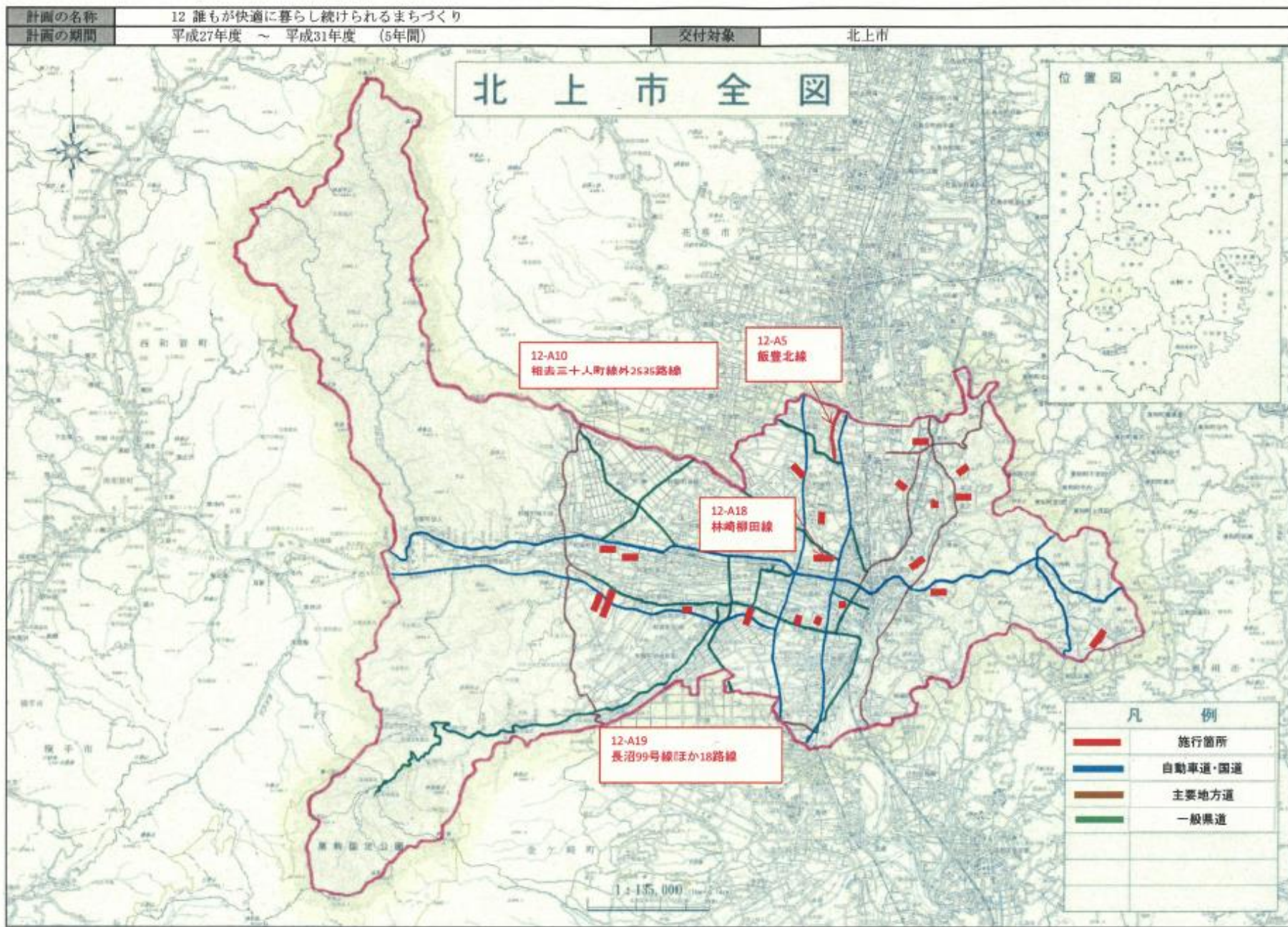
A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																		
道路事業	A01-001	道路	一般	北上市	直接	北上市	市町村 道	改築	飯豊北線	L=2.4km	北上市	■	■	■	■	■	1,483		—	
	A01-002	道路	一般	北上市	直接	北上市	市町村 道	除雪	相去三十人町線外2535路 線	除雪（雪寒道路1053km）	北上市	■	■	■	■	■	1,500		—	
道路事業	A01-003	道路	一般	北上市	直接	北上市	市町村 道	改築	林崎柳田線	L=0.78km	北上市				■	■	273		—	
道路事業	A01-004	道路	一般	北上市	直接	北上市	市町村 道	改築	長沼99号線ほか18路線	測量設計・道路改築・移転補 償	北上市				■	■	1,216		—	
											小計						4,472			
道路事業											合計						4,472			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	
配分額 (a)	248	192	198	450	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	248	192	198	450	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	38	31	
支払済額 (e)	248	154	205	439	
翌年度繰越額 (f)	0	38	31	42	
うち未契約繰越額(g)	0	38	0	8	
不用額 (h = c+d- e- f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	19.79	0	1.55	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		地権者との補償契約が困難により			

(参考図面) 社会資本総合整備計画



事前評価チェックシート

計画の名称：誰もが快適に暮らし続けられるまちづくり

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合	
I. 目標の妥当性 1) 計画の目標が市町村の総合計画[北上市総合計画]と適合している。	○
II. 計画の効果・効率性 ②目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性がある	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性がある	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものになっている	○
II. 計画の効果・効率性 ③事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標に対して十分な効果を得られる事業で構成されている	○
II. 計画の効果・効率性 2) ハードとソフトの連携が図られている	○
III. 計画の実現可能性 ④計画の具体性	
I. 目標の妥当性 1) ハード整備の必要性が整理されている	○
I. 目標の妥当性 2) ハード事業で保全される区域が明確である	○
I. 目標の妥当性 3) ソフト施策の目的が明確である	○
I. 目標の妥当性 ⑤円滑な事業執行の環境	
I. 目標の妥当性 1) 計画の内容に関し、地元に対する事前説明が行われている	○